

謹んで新年のお慶びを申し上げます



奥尻町長 新村 卓実

町民の皆様

新年あけまして

おめでとーございませう

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素から町政全般にわたり深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、昨年2月に行われまして町長選挙において、町民の皆様温かいご支援をいただき、引き続き4期目の町政の舵取りを担わせていただくこととなりました。今後は、無投票当選の重みと、私自身に課せられた使命と責任の重大さを感じ取り、認識しながら、アフターコロナを見据え、「持続可能な町」を築くため、職務にまい進する覚悟でありますので、町民の皆様には、今後ともご協力をお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと「新型コロナウイルス感染症」が世界各国で未だ収まらず、特に欧州や韓国などにおいては、ワクチン接種を2回終了したにも関わらず、感染者数が増加している状況にあります。国内においては、幸い感染者数が昨年11月から減少傾向にあり、緊急事態宣言も解除され、飲食やイベントの規制も徐々に緩和されておりますが、新たにオミクロン株が確認されるなど、これから寒さが厳しくなる時期を迎え、感染拡大が心配されております。町民の皆様には、冬の感染拡大に向けて「三密回避」・「マスク着用」・「手指消毒」・「屋内での換気」の基本的な感染防止行動の実践を引き続きお願いするものであります。

このような中、国政においては、衆議院議員選挙が行われ、与党であります自公政権が安定多数の293議席を獲得し、選挙後の臨時国会において、岸田首相が第101代内閣総理大臣に選出されたところであります。

一方、一年延期されました東京五輪が原則無観客で開催され、日本選手団は史上最多となる58個のメダルを獲得し、選手の活躍が国民に感動と勇気を与えました。その他、各スポーツイベントにおいても観客数を制限して開催されました。

本町においては、コロナ禍での島内イベントの開催は、町民へのウイルス感染の恐れがあるということから「ムーンライトマラソン」や「成人式」さらには「敬老のつどい」など、各種イベントを中止したところであります。

また、島内での各イベントが中止されたことに伴う観光客の減少や国の緊急事態宣言などにより、飲食店での会食等が制限されたことから、町内商店や飲食店などは、非常に厳しい経済状況に追い込まれました。

さらに、第一次産業においては、ウニ漁やナマコ漁は、コロナ禍前の水揚げを確保できましたが、期待しておりましたイカ漁やホッケ漁は、外国船による違法操業、さらには地球温暖化によるスルメイカの生息する水温帯が本島周辺で形成されなかったことや、ホッケ漁が時化の影響で操業日数が少なかったことから、漁獲量が大きく減少しました。

一方、本町農業の主要作物であります稲作については、天候に恵まれたことから、収

稲作については、天候に恵まれたことから、収

副町長	田中 敦詞
総務課長(兼) 会計管理者	安藤 寛
総務課 参事	千田 剛
地域政策課長	杉山 静治
税務国保課長	長崎 武巳
建設水道課長	片石 裕文
水産農林課長	横田 稔
保健福祉課長	青木 陽一
企業管理課長	満島 章
発電課長	松田 雅樹
青苗支所長(兼) 環境センター所長	櫻花 幸久
空港管理事務所長	深瀬 洋治
他職員	同



穫量は良好でしたが、コロナ禍の影響から価格が低迷したところであり、全国的に余剰米が出てくることから、今年度の作付面積については、減反される予定であります。

このような経済状況の中ではありましたが、若い漁業者等による「ワカメ」や「ホソメコンブ」の養殖が進んでおり「ホソメコンブ」については、函館の企業と提携してホソメコンブを原材料とした出汁を製作したところがあります。

次に、今年の町政については、新年度においては、いよいよ「強く・柔らかく・便利で賢い庁舎」を目指し「約20億円」の建設費をかけ、役場と消防署を一体とした「奥尻町総合庁舎」の建設に着手いたします。完成年度は令和5年度中を目指し、令和6年度のゴールデンウィーク明けからの供用開始を目指します。

また、すでに公表されている日本海沿岸の津波浸水想定の設定に基準水位を加えた「津波災害警戒区域」の指定についても準備を進めてまいります。

次に、基幹産業の漁業についてであります。新たな魚類養殖事業として

始めたサーモン養殖については、昨年11月に80グラムの幼魚1千尾を奥尻港湾の生簀に搬入したところであり、今年6月に一尾3キロの水揚げを目指した養殖をし、新年度においては既存施設での養殖の他、対岸の八雲町・ひやま漁協と連携し、以前に沖合養殖パイロットファーム事業を実施しておりました海域に40メートルの円筒形生簀を設置してのサーモン養殖も検討しているところがあります。

一方、農業については、ふるさと納税の返礼品として人氣が高い「奥尻ワイン」などについて、なお一層のPRを行い、販売促進を行うとともに、自主財源の確保を図ってまいります。

次に、観光についてであります。ポストコロナを見据えた観光を目指し、三大祭りなどのイベントが無事に開催できることを祈っているところであります。

次に、奥尻高校についてであります。

受験については、今年も推薦入学試験を導入し、入学生の確保に努めているところであります。また、3年生においては、現在のところ立教大

学と立命館アジア太平洋大学への各1名の進学などが決定しているところであります。

次に、島唯一の医療機関であります国保病院につきましては、現在1名の常勤医師となつておることから、町民が「安心・安全に暮らせる」町づくりのため、医師等の医療従事者の確保や施設の改良に努めてまいります。

次に、令和2年度財政状況についてであります。公債比率は10.3%（前年11.0%）、将来負担比率は22.3%（前年20.5%）と、早期健全化の目安となる25%・350%をそれぞれ下回っており、良好な財政状況を維持しております。しかし、町の貯金となります財政調整基金積立金は、8億3千7百万円と10億円をきる積立金額となつており、奥尻町総合庁舎建設等に係る基金としては、1億6千5百万円を公共施設整備基金として積み立てております。

他にも国保病院や整備工場など老朽化している公共施設が多く、更新や大規模改修を実施しなければならぬ現状にあることから、令和3年度においては、職員の協力のもと、職員給与費の自主削減を

実施したところでありますが、新年度においては、職員給与の自主削減は終了することとなりますので、今後も財政規模にあつた新年度予算の計画を立てていきたいと思つております。

結びに、令和4年は壬寅年みずのえとらであります。

寅年は「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表している」と言いますので、今年度は昨年をコロナ禍で厳しい冬の時代ととらえ、新たな奥尻町としての芽吹きが華々しく生まれる年となることにも、町民の皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和4年 元旦



奥尻町国民健康保険病院

- 副院長 泉里豪俊
- 歯科医長 渡邊一史
- 薬局長 渡邊久代
- 看護師長 阿部千賀子
- 事務局長 大須田直哉
- 他 職員一同

奥尻町選挙管理委員会

- 委員長 小林賢三
- 他 委員一同
- 書記長 安藤寛

奥尻町監査委員

- 代表監査 松川博俊
- 他 委員一同
- 事務局長 阿部元大

奥尻町農業委員会

- 会長 海老原浩
- 他 委員一同
- 事務局長 横田稔

奥尻町教育委員会

- 教育長 新谷順二
- 教育委員 上野史朗
- (教育長職務代理者)
- 他 委員一同
- 事務局長 山崎和範
- 他 職員一同



奥尻町議会議長 工藤 勇

町民一人一人が明るく笑顔で 活気に満ちた町づくりを目指して



町民の皆様

新年あけまして

おめでとございます

令和4年の年頭にあたり

謹んで新年の

ご挨拶を申し上げます

昨年も新型コロナウイルス感染症により、健康・生活・経済とすべてにおいて、甚大な影響をおよぼされた1年でありました。

ワクチンの接種が進み、感染者数も激減し、以前の普通の生活が送れる日が近づいてきたかと喜んだのも束の間、新しい変異株によりまた遠くなった気がします。

早くマスクなしで暮らせる日が来てほしいと願うばかりです。島の産業状況を振り返りますと、漁業においてはイカ漁の不漁が数年続き、これまで以上の厳しい水揚げ高となりました。

観光面においてもラ・サール高校の研修旅行の中止などにより、以前より入り込み数が多くなっていませんが、工事関係者の入り込みが増えてくれたことが少し明るい材料だと考えております。

昨年11月からスタートしたサーモン養殖事業や、今年秋から着工予定の奥尻町総合庁舎建設工事による人流、ウニやアワビ、ワインや地酒奥尻を求めて多くの観光客で賑わい、イカ漁やホッケ漁も大漁で「夢の島」「宝の島」となる1年でありますよう期待しています。

新しい年を迎え、町民一人一人が明るく笑顔で活気に満ちた町になるよう頑張りましょう。

今年には議会改革を進めながら、国・道、関係機関との連携を強化し、活発な議会活動を目指します。

町民の皆様にとりまして、より良い1年になりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和4年 元 旦



奥尻町議会

副議長・総務産業常任委員

齋藤 伸彦

総務産業常任委員長・議会運営委員・広報編集特別委員

水野 諭

議会運営委員長・総務産業常任委員

寅尾 裕志

議会運営副委員長・総務産業常任委員・議会選出監査委員・檜山広域行政組合議会議員

青坂 賢二

広報編集特別委員長・総務産業常任委員・檜山広域行政組合議会議員

制野 征男

総務産業常任委員

麓 敏也

総務産業常任副委員長・広報編集特別副委員長

松塚 政継

事務局長 阿部 元大

他職員 一同